

待 兼 山

大阪大学経済学部同窓会

2025年（令和7年）4月1日 第41号

ホームページ <https://www.web-dousoukai.com/machikaneyama/>



大阪大学経済学・経営学のトピラ



同窓会代表幹事会



ECOCA スタッフ



同窓会懇親ゴルフ会

「第26回大阪大学経済学部同窓会総会・懇親パーティ」のお知らせ

日 時：2025年7月5日（土） 受付14：00～
場 所：リーガロイヤルホテル大阪
大阪市北区中之島5-3-68
TEL 06-6448-1121
光琳の間（タワーウィング3F）
総 会：14：30～15：00
記念講演：15：15～16：15
講師：百瀬裕規（33期 1985年卒）
野村証券専務、野村総合研究所副会長
を経て現在バインキャピタル・プライ
ベート・エクイティ・ジャパン会長
懇親パーティ：16：30～18：30
会 費：事前振り込み6,000円、当日7,000円
参加申込：6月末までに会費をお振り込みください
同窓生の皆さま、奮ってのご参加をお待ちし
ています！

ゴルフ会のご案内 （大阪大学経済学部同窓会懇親ゴルフ会）

日 時：2025年7月6日（日）
場 所：関西クラシックゴルフ倶楽部
〒673-1123 兵庫県三木市吉川町湯谷567
参 加 費：2万円程度（昼食代・懇親会費込み）
参加ご希望の方はメール、電話、FAXにて事
務局までご連絡ください
皆さまの参加申し込みをお待ちしています！

大阪大学経済学部同窓会

〒560-0043 豊中市待兼山町1-7
（大阪大学豊中キャンパス内）
事務局 Eメール machikane@econ.osaka-u.ac.jp
TEL 06-6850-5275（火・木・金の13：00～17：00）
FAX 06-6850-5276
総会・ゴルフ会・同期会・WEB会員名簿など
お問い合わせは事務局までどうぞ！



充実したキャンパスライフを 送ってもらいたい

同窓会名誉会長 経済学部長・経済学研究科長 佐々木 勝

昨年4月に経済学部長・経済学研究科長に就任してから、早くも1年が経ちました。日頃より、同窓会の皆様から多くのご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

就任時、新型コロナウイルスの感染症分類が第5類に移行してから約1年が経過していましたが、学内には依然として新型コロナ禍の影響が残っていると感じました。特に、コロナ禍の期間中に入学した学生は、1・2年次の多くの授業をオンラインで受講したため、3・4年次になっても横のつながりを築きにくい状況が続いていました。また、入学当初は課外活動が制限・禁止されていたため、先輩・後輩との縦のつながりを作る機会も限られていました。思い描いていたキャンパスライフを十分に送ることができなかったのではないかと考えると、大変申し訳なく思います。今後入学する学生には、充実したキャンパスライフを送ってもらいたいと、心から願っています。



国際交流の面では、新型コロナ禍前の水準に戻りつつあります。2023年度には、留学生数が274名、交換留学プログラムの参加者数が25名と、大幅に増加しました。2024年度の結果はまだ正式に確定していませんが、多くの学生が交換留学プログラムを活用し、貴重な海外経験を積んだことと思います。今後も派遣学生数の増加に努め、国際交流のさらなる活性化を目指してまいります。

本研究科・学部は、産学官連携を通じ、積極的に社会課題の解決に取り組んでいます。2023年度には、学内シンクタンクである社

会ソリューションイニシアティブ（SSI）とともに、学内の「OUマスタープラン実現加速事業」に申請し、採択されました。2024年度から事業が本格的に始動し、子育て政策や子ども支援に関わる大阪府下の自治体（大阪府、大阪市、豊中市、吹田市など）や、社会福祉協議会（大阪府、大阪市、堺市など）、関連NPO団体を含む約30の団体と連携会議を設立しました。また、和泉市においては、子ども食堂のインパクト評価プロジェクトを開始しました。今後、子ども食堂ネットワークのシンポジウムなどのイベントも開催する予定です。



次に、外部資金獲得への取り組みについてご報告します。まず、ネーミングライツ・パートナー制度の活用についてです。2023年には、人材派遣事業を含む多様な事業を展開するレバレジーズ株式会社と、法経講義棟5番教室のネーミングライツを3年間契約しました。また、外部資金の獲得に向け、明治安田生命、アビームコンサルティング、電通デジタルなど、多くの企業から寄付金をいただきました。寄付金の受け入れに伴い、教員との共同研究を進めるとともに、寄付講座を開講しています。これもひとえに、同窓会の皆様のネットワークのおかげであり、外部資金獲得が着実に増加していることを実感しております。

今後も、経済学部同窓会の皆様とのより深い関係を築けるよう、全力を尽くしてまいります。引き続き、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

同窓会の火を消さない

大阪大学経済学部同窓会 会長 井上 ゆかり
日本ケロッグ合同会社 代表職務執行者社長 (33期・1985年卒)



待兼山の満開の桜が新生を迎えている様子を思い浮かべる季節になりました。皆様の日頃の同窓会活動へのご協力に心から感謝申し上げます。

昨年も代表幹事・役員の皆様のご協力を得ながら、同窓会活性化の為に新しい施策を試して参りました。今年も良いご報告ができず申し訳なく思っております。目標にしておりました、会費納入率のアップを果たすことはできませんでした。活動内容としては、期待



を込めて卒業後1・2年の同窓会を企画しましたが、殆ど応募がない状態でした。2025年3月の卒業式後の

同窓会主催の懇親会も応募10名という結果で開催を見送りました。コロナ禍で学生さん同士の繋がり、並びに、大学への帰属意識が薄れたとはいえ、同窓会の存在意義をお伝えできなかったことは本当に残念で仕方ありません。その一方で、同窓会の経済学部70周年記念の寄付によって、大学院に進まれた学生さんのお話を伺うことで、同窓会はお役に立てていると実感することはできました。3年後の80周年を目指して、今一度、大学の先生方に経済学部に対する学生のエンゲージメントを高めていただくことをお願いする一方で、同窓会としてECOCAとの繋がり強化、代表幹事会の活性化、同期会開催のお手伝いなどを通じて、同窓会の火を消さない様に励んで参りたいと存じます。引き続き皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

学生部会 (ECOCA) の活動

学生部会 (ECOCA) 会長 高橋 樹輝



学部を盛り上げ、自分磨きの場としたい

第16期会長を務めました高橋樹輝です。ECOCAは、経済学部内の縦と横のつながりを強め学部全体を盛り上げること、学生の自分磨きの場を提供することの2つを理念とし、経済学部同窓会をはじめ様々な方のご支援をいただき活動しています。今年度は特にスタッフ研修をはじめ61名のメンバー同士の交流に力を入れ、そこで育まれた関係性が充実したイベント運営に

直結した1年だったと思います。具体的には、4月の新歓プロジェクト、5月・10月の就活支援プロジェクト、3月の卒業祝賀会など、学生のニーズに合わせたイベントを提供しています。ご興味ある方は一度HPをご覧ください、ECOCAについて知っていただけたらと思います。経済学部を盛り上げるため努力していきますので、今後ともECOCAをよろしくお願いいたします。



新入生歓迎プロジェクト



OBOG交流会



就活支援プロジェクト



卒業祝賀会

2024年度同窓会活動報告

2024年4月1日より同窓会ホームページ（HP）をリニューアル、WEB会員名簿を新システムへ移行し運用を開始しました。まだご覧いただけていない方はぜひアクセスしてみてください。お気づきの点があればご意見をお聞かせください。リニューアル、新システム移行については、前田紀幸さん（40期・1992年卒）にご協力いただきました。（HP、WEB会員名簿についてはP12をご覧ください）



また、OFC※事務局の室長が玉江尚之さん（23期・1975年卒）から高戸順一郎さん（28期・1980年卒）に交代しました。玉江さん永らくありがとうございました。高戸さんよろしく申し上げます。

「大阪大学経済学・経営学のトビラ」は7回開催しました。5月3日、大阪大学のホームカミングデイ終了後に開催した経済学部OBOGの懇話会には「恩師再び」企画として宮本又郎名誉教授にお越しいただきました。教鞭をとっておられた頃の話を楽しく、面白くご披露いただきました。



宮本又郎名誉教授

※オープン・ファカルティ・センター：大阪大学経済学部50周年記念事業として設立（1998年）、講演会やニュースレターの発行を行なっている。

11月29日、OFC講演会では本間正明名誉教授から「日本の経済財政を考える」と題してご講演いただきました。会場、オンラインあわせて100名を超える盛況となりました。「トビラ」は会場、オンラインどちらでも参加できますので貴重な話が聞けるこれらの機会を多くの方に活用いただきたいと思います。Facebook、Xなどご利用の方は同窓会のイベント情報も広めていただけるとありがたいです。よろしく申し上げます。



本間正明名誉教授

同窓会でもSNSのアカウントを作成しましたが、実際のところうまく運営できていません。若手会員でSNS運営に協力いただける方はぜひご連絡ください。

2025年度は7月5日、リーガロイヤルホテル大阪で第26回総会を開催します。多数の方のご参加をお待ちしています。



「大阪大学経済学・経営学のトビラ」シーズン5へ！

2021年7月から同窓会活性化プロジェクトの一環として始まった「大阪大学経済学・経営学のトビラ」シリーズは、本年7月の総会特別記念講演会からシーズン5に入ります。

私たちの共通の学問分野である経済学・経営学を生涯の学びの友にしようと経済学部の先生だけでなく、現役学生、卒業生（中堅・エグゼクティブ）の皆さんに登壇いただき、毎回充実したイベントとなっています。皆さんの積極的な参加をお願いするとともに、ご意見、ご要望等をご遠慮なくお寄せ下さい。

同窓会副会長・東京待兼会会長 西本 麗（28期・1980年卒）

開催実績・予定（2024年4月～2025年7月）

開催日	テーマ	講師
2024/4/4	日本企業の競争力への考察	三菱ガス化学(株)社長 藤井 政志氏（29期）
2024/5/3	恩師再び	名誉教授 宮本 又郎氏
2024/5/31	Fair TradeとSDGs	名誉教授 阿部 顕三氏
2024/9/26	株価と資本コストを意識した経営：日本企業の現状分析と課題	経済学部 村宮 克彦教授
2024/11/9	日本の経済財政を考える	名誉教授 本間 正明氏
2025/2/18	学生懸賞論文表彰式・留学報告会	
2025/2/19	小さなことにしつこく真剣	高石工業(株) 社長 高石 秀之氏（44期）
2025/4/9	たかがセメント、されどセメント	太平洋セメント(株) 会長 不死原 正文氏（26期）
2025/5/3	恩師再び	（名誉教授のご参加調整中）
2025/5/28	（未定）	経済学部 安田 洋祐教授
2025/7/5	（未定）	ペインキャピタル・プライベート・エクイティ・ジャパン会長 百瀬 裕規氏（33期）

令和5年度決算報告

予算比で収支ともに大幅な減額となっていますが、これは予定していた運営基金からの戻入150万円を次年度に変更したためです。HPのリニューアル、WEB名簿の新システムへの移行の費用を計上していましたが、運営開始が2024年4月1日となり支払いが次年度になりました。

収入面では、同窓会の重要な収入源である年会費収入の減収傾向に歯止めはかからず、厳しい財政状況が続いています。

支出面では、隔年開催の総会をリーガロイヤルホテル大阪で開催したほか、シリーズ講演会「経済学・経営学のトビラ」、各種会合を会場とオンラインのハイブリッド開催で実施しました。経費節減に努めた結果、前年度実績とほぼ同じになりました。

収支につきましては、大口の協賛金をいただいたおかげで単年度では少額ながら黒字となりましたが、実質的には赤字の状況です。引き続き経費節減に取り組みますが、一方で物価上昇が続く、郵便料金の値上げなど、同窓会活性化のためのイベントや各種会合、情報発信機能の強化にあたり経費増が見込まれます。

今後の同窓会活動を継続していくためには会費納入者の拡充が不可欠です。会費納入・協賛金について一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。また、皆様のネットワークを通じて同窓会行事への参加者を広げることも必要です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局長 安竹 素之（28期・1980年卒）

一般会計収支計算書
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(単位：円)			
科 目	予 算	実 績	差 異
I 収入の部			
1. 会費・入会金収入	4,905,000	5,291,000	△ 386,000
(1) 入会金	250,000	170,000	80,000
(2) 年会費	2,650,000	2,205,000	445,000
(3) 協賛金	1,300,000	2,429,000	△ 1,129,000
(4) 特別会費	705,000	487,000	218,000
2. 利息収入	300	265	35
3. 雑収入	135,000	16,000	119,000
4. 特別会計戻入	2,500,000	1,000,000	1,500,000
(1) 総会	1,000,000	1,000,000	0
(2) 運営基金	1,500,000	0	△ 1,500,000
当 期 収 入 合 計	7,540,300	6,307,265	1,233,035
II 支出の部			
1. 事業費	5,835,000	3,642,709	2,192,291
(1) 会報発行費	450,000	408,079	41,921
(2) 名簿作成費	500,000	1,370	498,630
(3) 総会費	2,560,000	2,308,740	251,260
(4) 助成費	175,000	137,000	38,000
(5) HP運営費	1,200,000	190,586	1,009,414
(6) イベント費	480,000	189,350	290,650
(7) 活動拠点運営費	470,000	407,584	62,416
(8) 新価値創造調査費	0	0	0
2. 管理費	2,285,200	2,527,313	△ 242,113
(1) 業務委託費	720,000	700,000	20,000
(2) 会員管理・会費事務費	750,000	788,578	△ 38,578
(3) 事務局管理運営費	300,000	300,000	0
(4) 会議費	450,000	586,280	△ 136,280
(5) 消耗品費	10,000	122,272	△ 112,272
(6) 通信交通費	25,000	14,673	10,327
(7) 慶弔費	20,000	7,940	12,060
(8) 雑費	10,200	7,570	2,630
3. 特別会計繰入	0	0	0
(1) 総会	0	0	0
(2) 運営基金	0	0	0
4. 予備費	0	0	0
当 期 支 出 合 計	8,120,200	6,170,022	1,950,178
当 期 収 支 差 額	△ 579,900	137,243	△ 717,143
前期繰越収支差額	1,980,060	1,980,060	0
次期繰越収支差額	1,400,160	2,117,303	△ 717,143

特別会計収支計算書
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(単位：円)			
科 目	予 算	実 績	差 異
I 収入の部			
1. 一般会計より繰入	0	0	0
(1) 総会	0	0	0
当 期 収 入 合 計	0	0	0
II 支出の部			
1. 一般会計へ戻入	1,000,000	1,000,000	0
(1) 総会	1,000,000	1,000,000	0
当 期 支 出 合 計	1,000,000	1,000,000	0
当 期 収 支 差 額	△ 1,000,000	△ 1,000,000	0
前期繰越収支差額	1,000,000	1,000,000	0
次期繰越収支差額	0	0	0

(2) 運営基金特別会計 (単位：円)

科 目	予 算	実 績	差 異
I 収入の部			
1. 一般会計より繰入	0	0	0
当 期 収 入 合 計	0	0	0
II 支出の部			
1. 一般会計へ戻入	1,500,000	0	1,500,000
当 期 支 出 合 計	1,500,000	0	1,500,000
当 期 収 支 差 額	△ 1,500,000	0	△ 1,500,000
前期繰越収支差額	13,000,000	13,000,000	0
次期繰越収支差額	11,500,000	13,000,000	△ 1,500,000

(3) 周年記念事業特別会計 (単位：円)

科 目	予 算	実 績	差 異
I 収入の部			
1. 譲受金収入	0	0	0
当 期 収 入 合 計	0	0	0
II 支出の部			
1. 学生会部会活動助成費	250,000	238,790	11,210
2. 予備費	100,000	0	100,000
当 期 支 出 合 計	350,000	238,790	111,210
当 期 収 支 差 額	△ 350,000	△ 238,790	△ 111,210
前期繰越収支差額	3,565,382	3,565,382	0
次期繰越収支差額	3,215,382	3,326,592	△ 111,210

貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(令和 6 年 3 月 31 日現在)				(単位: 円)
資 産	金 額	負債及び正味財産	金 額	
【資産の部】		【負債の部】		
1. 現金	72,577	1. 前受金	44,000	
2. 普通預金	4,532,347	負債合計	44,000	
3. 定期預金	13,500,000			
4. 未収入金	180,678	【正味財産の部】		
5. 前払金	137,500	1. 一般会計収支差額	2,117,303	
		2. 特別会計収支差額	16,326,592	
		(1) 総会・名簿特別会計	0	
		(2) 運営基金特別会計	13,000,000	
		(3) 周年記念事業特別会計	3,326,592	
		正味財産合計	18,443,895	
資産合計	18,423,102	負債及び正味財産合計	18,487,895	

共助社会と共感経済を目指して

誰もが助けを必要とする存在となり得る現代社会が目指すべき姿は、ともに支え合う「共助社会」です。「共える経済システム」共感経済。今回は、共助と共感を基盤とする新しい社会・経済システムとその実現を

1. 近代社会とは

私は40年近く経済学の歴史を研究してきましたが、それは同時に近代社会の本質を問う研究であったとも言えます。

図1で示されるように、近代社会では社会の中心に有能な人 (capable) がいて、財やサービス、知識を生産し、それらの生産に貢献できない人、つまり「弱者」 (vulnerable) にも分け与えるとともに、「弱者」を「有能な人」に近づけ、包摂しようとしています。しかし、「弱者」は「有能な人」から一方的に助けられるだけの存在でしょうか。

社会課題の現場の方々と接してみると、「有能な人」は「弱者」に対して財やサービス等、ケーパビリティ拡大のための支援を一方的に与えるのではなく、「弱者」に向き合い共感することによって、「心の壁」から解放されることが分かります。反対から見れば、「弱者」は「有能な人」から一方的に助けられる存在ではなく、「弱者」であるがゆえに与えることができるものを持っていると言えます。すなわち、「有能な人」と「弱者」とのあいだには共助関係があるということです。

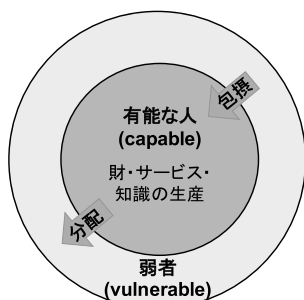


図1 近代社会の基本構造

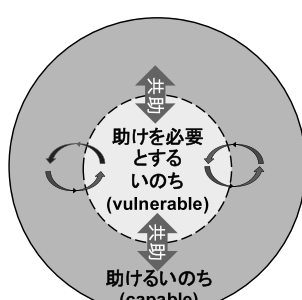


図2 目指すべき共助社会

2. 目指すべき社会：共助社会

このことを踏まえ、私は図2のような社会を目指すようになりました。それは、「助けを必要とするいのち」を中心に置き、「助けるいのち」が周りから向き合い、包摂され、助け合う社会です。「いのち」としたのは、人間だけでなく、人間以外の生き物や自然も含まれるからです。ただし、誰が助けを必要とする側で誰が助ける側になるかは、あらかじめすべて決まっているわ

けではなく、流動的です。私たちは、新型コロナ・ウィルス感染症によって、誰もが「助けを必要とする存在」であることを学びました。

普通に生活していた人を「助けを必要とする人」にする可能性は、コロナ・ウィルス感染症だけでなく、震災や台風等の災害、気候変動、水不足、紛争等、どの社会課題も持っています。反対に、助けを必要とする存在になった経験をもつこと、他の人から助けてもらった経験をもつことは、そうでなければとらなかった行動をとり、使わなかった能力を使うことにもなります。

このような共助社会を実現しようとするグローバルなチャレンジとして、たとえば、「誰一人取り残さない」を唱えるSDGs、そして「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに2025年に開催される大阪・関西万博などがあります。

3. 共助社会を支える共感経済

私が代表を務める大阪大学社会ソリューションイニシアティブ (SSI) は、共助社会を支える経済として「共感経済」を提唱しています (<https://www.ssi.osaka-u.ac.jp/>)。図3において、上部の長方形は共助社会を表します。紫色の楕円は「いのち」を表します。

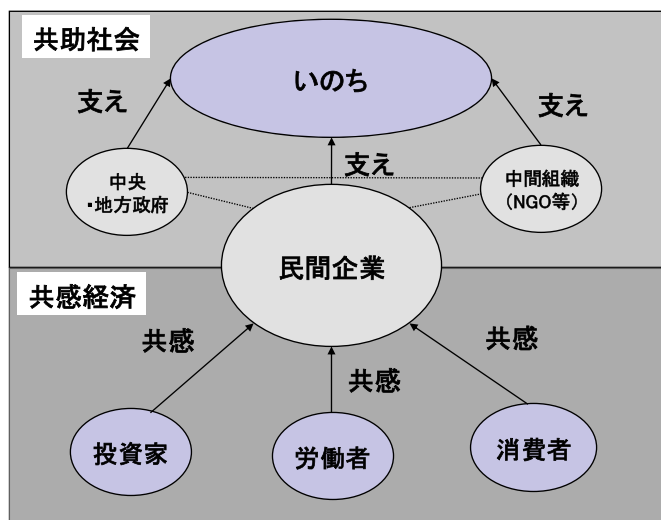
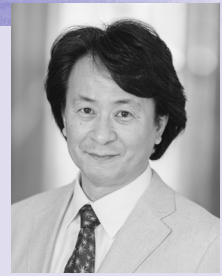


図3 共助社会を支える共感経済

「いのち」を支える器は3つあります。政府・地方自治体、民間企業、中間組織です。共感経済では、民間

大阪大学特任教授 堂目 卓生



「共助社会」を支える民間企業を、支えられる「いのち」でもある人々が共感をもって目指す活動について、堂目卓生先生にご寄稿いただきました。

企業が中心になって「いのち」を支えます。そして企業は、3種類の人びとによって支えられます。一つ目が投資家です。共感経済では、投資家は収益率だけを基準に投資先を決めるのではなく、その企業がどれくらい「いのち」を支えようとしているのかを見て、それに共感して、より正確には、その支えによって助けられる人や自然の感謝に共感して投資します。ESG投資と言われているものです。

労働者、たとえば就職活動をする学生たちは、何を基準に就職先を決めるのか。共感経済では、初任給やフリンジベネフィットだけでなく、その企業が「いのち」にどう向き合う企業なのかを見て、そのことに共感して、そこで働くか否かを決めます。エシカル就活という言葉も現れています。

最後に消費者です。共感経済では、消費者は単に価格が安いものを買うのではなく、自分が買おうとしている商品が、サプライチェーンにおいて自然や人間に対してどのような影響を与えて生産され、供給されたのか、そのことに対して企業はどれくらいコストをかけて対処したのか、これらも考慮して購買するか否かを決めます。

共感経済において企業を支える投資家、労働者、消費者は、いずれも元を正せば、みな人間です。あるいは「いのち」です。このことは、図3の長方形をハサミで切って、上と下を重ねてみれば明らかなです。下の部分の投資家・労働者・消費者が上の部分の「いのち」と重なるはずで、このことは、実は**共助社会と共感経済からなるシステムは、「いのち」が「いのち」を支えるシステム、自分たちの「いのち」は自分たちで支えるという意味で自助のシステム**だと言えます。

共助社会・共感経済の構想は、経済同友会が唱える「共助資本主義」に通じるものがあります(<https://www.doyukai.or.jp/chairmansmsg/statement/2023/240101.html>)。経済学部同窓の井上ゆかり会長は、「共助資本主義の実現委員会」の委員長であり、井上会長の取り計らいによって、大阪大学は、実現委員会の連携組織である「共助資本主義の実現に向けた大学連合」に参加することになりました。

4. 私の実践

共助社会・共感経済の実現に向け、大阪大学は、2023年3月24日、関西経済連合会、関西経済同友会、大阪商工会議所とともに発起人となって、「いのち会議」を立ち上げました(<https://inochi-forum.org/>)。私は、実行委員会の副委員長を務めています。

「いのち会議」の活動は主に3つあります。まず、「いのちの声」を聞くことです。自分が望むことや未来の社会に関して、世代や性差、民族や国籍等、あらゆる境を超えて、若者や子どもたちも含めた小さな声をアンケートなどを使って聞きます。文字で表現されるものだけではなく、絵や動画等、様々な形の作品によって表現された声を集めます。

次に「アクションパネル」を通じて話し、考え、行いにつなげます。産官学民のメンバー、さらには大学生や高校生、中学生や小学生を含む若者や子どもたちとも一緒になって、防災、エネルギー、ジェンダー、貧困などSDGsに関連するテーマ、科学技術や芸術・スポーツ等のSDGs+Beyondのテーマごとに活動を進め、それぞれのテーマの解決や達成、新たな課題の発見等を進めます。

最後に、「いのち宣言」です。アクションパネルやいのちの声の活動を通じて、いのち輝く未来社会のために人類が為すべきことを、**2025年10月11日に万博会場の「フェスティバル・ステーション」において人類全体に向かって宣言**し、2030年のSDGsの達成、および2030年以後の社会に向けた行動指針を示します。

「いのち会議」の活動は、万博終了後も続きます。「聞く」、「話す・考える・行う」、「言葉にする」という活動が続け、SDGs、Post SDGsを通じて、2050年に「いのちを大切に社会」を実現することを目指します。

私は2024年度で経済学部・経済学研究科を去りましたが、「経済学（経世済民学）」の研究を支えてくださった先輩、同僚、事務の方々、および学生のみなさん、そして実践の場へと誘ってくださった同窓会の皆様に心より感謝申し上げます。

東京待兼会だより

会長 西本 麗 (28期・1980年卒)

東京待兼会では、東日本の同窓生の交流促進のためさまざまな活動を行っています。

1. 春季・秋季懇話会

法学部同窓会(青雲会)と共催で講演会及び懇親会を開催しています。春季はOFC(経済学部オープンファカルティセンター)とも共催です。

【総 会】2024年6月2日(日)春季懇話会に先立ち東京待兼会の総会を実施し、決算・予算・活動計画や新役員体制が承認されました。

【春季懇話会】同日18時より学士会館にて春季懇話会を実施しました。講師は大阪大学名誉教授・中央大学経済学部教授の阿部 顯三先生に『SDGsと貿易―フェアトレードを中心として』というテーマでお話をいただきました。終了後懇親会を開催し約50名の参加がありました。



【秋季懇話会】2024年12月14日(土) 青雲会幹事で二松学舎大学にて開催。松田邦夫氏(大同信号機取締役、法学部28期卒)が「居合と刀の魅力～赤穂義士討ち入りの日に」のテーマでお話をされ、終了後懇親会を開催し、約40名の参加がありました。

2. 若手向け著名阪大卒業生との懇話会

東京地区の若手同窓生内の活動を活性化すべく、新たなイベントを企画し実行しました。社会で活躍する卒業生をお招きし、卒業から10年未満の卒業生が比較的少人数集まり、懇親を行うものです。第2回は2024年12月3日(火) ベインキャピタルジャパン会長の百瀬裕規氏(33期)をお招きし、約20名の参加がありました。



3. ゴルフ部会

2024年9月1日(日)に予定していた東京待兼会ゴルフコンペは残念ながら台風の影響で中止となりましたが、12月13日(金)に咲耶会キンキラゴルフ会との合同コンペを開催し、10名の参加がありました。

【告知】 東京待兼会春季懇話会を開催します
2025年5月28日(水) 18:30～
中央大学駿河台キャンパス19階
カフェ “Good View Dining”
(千代田区神田駿河台3-11-5) にて
講師 大阪大学経済学研究科・経済学部
教授 安田 洋祐氏
(テーマ 未定)

東京待兼会(<https://tokyo-machikanekai.org/>)

名古屋待兼会だより

会長 藤原 政雄 (19期・1971年卒)

名古屋待兼会は、経済学部、法学部の卒業生を中心に昭和30年代に発足し、現在は全ての学部の卒業生により構成されています。愛知・岐阜・三重にお住まいの方が主な会員です。会の活動は「小の月の第三土曜日の18時から」を基本に例会と11月は総会開催です。例会では、講師担当の会員が30分ほど講話、その後は会食懇談です。

コロナ感染拡大に伴い、2年半に及ぶやむを得ない休会の時期もありましたが、旧知の仲間とあの場に行けば会える、そういう会を継続できていることを誇りに思っています。

昨年11月の総会には来賓として佐々木勝経済学部長をお



迎えし、先生のご研究の一端をわかりやすくご講演いただきました。大学渉外部門の中村麻貴さんには大学の現況、未来基金についてお話いただきました。

世代を超えた会員同士の語らい、会に参加いただければこの楽しみを共有いただけることでしょう。(関心のある方、同窓会事務局までご連絡ください。)

昨年の総会・例会のテーマは以下の通りです。

■ 2月例会 「地政学から見た日本の役割」

石丸正幸 (1961経)

■ 4月例会 「睡眠の仕組みと睡眠薬について」

藤田孝子 (1979薬)

■ 6月例会 「『枕草子』を学ぶ」

井上悦次 (1963経)

■ 9月例会 「オカリナについて」

平尾喜隆 (1966経)

■ 11月総会

経済学部長の佐々木勝先生に「スポーツ経済学のすすめ」のテーマでご講演いただきました。

同期会・ゼミ会だより

9年ぶりの20期同期会

2024年10月25日、20期の同期会を開催。コロナもあった9年ぶりでしたが、元気に顔をあわせ、それぞれに近況を披露してくれました。海外に会社を設立しバリへ働く“現役”がいたり、趣味の旅行やゴルフに興じる明るい“アクティブシニア”たち、さらに古代史に凝って歴史書を読み耽り、たまに近所を散歩するいわゆる“今風のオジサン”たち。田舎でコタツにみかん、孫に囲まれる“おじいちゃん”は見当たらなかった。皆さんそれぞれ人生を楽しんでいる様子。次は4年後80歳になったら声を掛けようかと…。



南 俊光 (20期・1972年卒)

23期同期会は64回目を数える

23期同期会は、例えば1996年には今は亡き蠟山先生を講師に招き待兼山会館で開催し、2008年からは3カ月毎に定例会として開催してきました。場所は京都や神戸もありましたが、概ね同窓会60周年事業で加入した梅田のガーデンシティクラブ。毎回10～15名の参加を得、今年の1月には64回目を数えるに至りました。23期が中心ですが入学と卒業年次が人により差があり22～24期と幅を設けて集まっています。この定例同期会は、各自の耳より情報が聞けるなど大変楽しい交流の場となっています。



写真は2023年7月に開催した同期会

藤田佳久 (23期・1975年卒)

34期同期会を和気藹々と開催

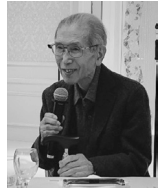
2024年8月17日ガーデンシティクラブ大阪にて、2年ぶりに同期同窓会を開催しました。今回はお盆休み中とあって参加者は9名と少なめでしたが、学生時代の懐かしい思い出話や裏話に大いに盛り上がり、一つのテーブルを囲んで和気藹々と楽しい時間でした。卒業以来の人もいましたが、直ぐに打ち解けられるのは同期ならではの！次回はより多くの方のご参加をお待ちしています。



奥村麻由美 (34期・1986年卒)

中村宣一郎先生を囲むゼミOB・OG会

少し遅りますが、2024年1月6日の経済学部名誉教授中村先生を囲むゼミOB・OG会を報告します。以前には、2022年5月の先生の卒寿を、あずさ監査法人内の同ゼミ卒業生を中心にささやかにお祝っていたのですが、ご無沙汰している卒業生等から再会を要望する声もあり、この日ホテル日航プリンス京都にての開催に至りました。先生はご高齢ながらも記憶明晰でおられ、経済学部長（当時）開本先生を含む約20名の参加者と和やかに懇談して頂き、卒業生同士も旧交を温めることができました。



三浦 洋 (31期・1983年卒)

本間正明ゼミ「霧霜会」を開催

本間先生のゼミ会を2024年11月9日、ガーデンシティクラブ大阪で開催しました。同日は、阪大オープン・ファカルティ・センター主催で先生の講演「日本の経済財政を考える」があり、その日程に併せ先生ご夫妻をお招きし27名が集まりました。霧霜会は隔年で東京・大阪で開催していますが、今回20年ぶりに参加してくれた人もあり、継続している意義を再認識しました。いつもは近況報告と学生時代の思い出話ですが、今回は講演直後で、学生時代に学んだ経済学も話題になり、アカデミックな雰囲気となりました。講演内容を著書にという話になったとこのことで、現在執筆中と聞いています。最近



はゼミOB・OG間のLINEでも、「103万円の壁」など財政学的な時事ネタが飛び交っており、楽しさが増えています。

藤原正啓 (36期・1988年卒)

卒業50周年記念で同窓会を開催しました

2023年10月29日、21期の卒業50周年記念同窓会を開催しました。15：00石橋阪大前に集合し、久しぶりに阪大豊中キャンパス、また記念館も見学し懇親会場がらんこ池田石橋苑へ。参加者34名のうち東京2名、愛知1名、福井1名、後は京阪神在住でした。数名が池田市のメンバーの家に泊まり込んだのは現役時代下宿に泊まり込んだ名残か？もともと25名のメールグループで連絡を取り合っていたのですが、今回の同期会でメールグループメンバーが増えました。



元木 幹治 (21期・1973年卒)

(事務局より) 同期会・ゼミ会をサポートします！

同窓会事務局では同期会やゼミ会のサポートも行なっています。

「同期会やゼミ会をしたいけど連絡先がわからない…」、「案内状の宛名書きが面倒だ…」、「手頃な会場を探すのも一苦労…」など幹事は大変です。

事務局では、案内文があればメールが登録されている同

期のメンバーにメールの発信をさせていただきます。また、宛先のタックシールも作成できます。会場は「ガーデンシティクラブ大阪」(P12参照)がオススメです。お得な同窓会プランが使えます。

事務局(P1参照)まで気軽にお問い合わせください。

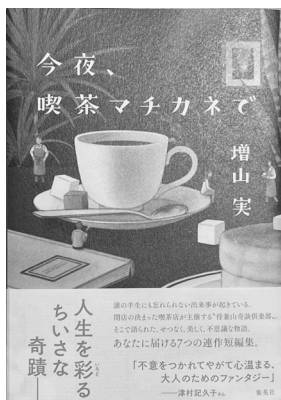
「待兼山ヘンジ」を観に行く

大谷 正紀 (21期・1973年卒)

卒業後五十余年を経過、同期生も全国に散らばり会える機会も減少してきましたが、我々同期はグループメールで互いの近況報告やちょっとした情報交換を続けています。まあ、生存確認も兼ねるのでしょうか…。

昨年11月、私は次のようなメールを発信しました。

「唐突ですが小説を一冊紹介します。『今夜、喫茶マチカネで（増山 実）』。ある関西私鉄の「待兼山」駅前にある喫茶店を舞台に、ちょっと不思議な話をオムニバス風に繋いでいく、というストーリーです。商店街を中心に、どうみても石橋駅前と言える風景が詳細に描かれ、喫茶店のバイトは阪大生、エピソードにはマチカネワニの化石やら、阪大坂やら、駅前銭湯やら、かなり詳細に阪大と石橋を取材してのものと窺え、大



「今夜、喫茶マチカネで」

変懐かしい雰囲気に入れました。エピソードの一つに従い、来年2025年1月11日には石橋駅西口に行こうと考えています。なぜかはこの本を読んだ人だけが分かります！」

メール内容は以上ですが、少し補足しますと、毎年1月11日にはこの待兼山駅の西口から、雑居ビルの谷間に



西口で夕日を待つ人々

息を呑むほど美しいでっかい夕日が沈んでいくのが観られる、阪大生の間では、カップルで観ると結ばれる、という伝説が有名で「マンハッタンヘンジ」にちなんで「待兼山ヘンジ」と呼ばれている、というエピソードからストーリーが展開していきます。もちろん作者の創作でしょうが、私は即、信じ

ました。そして必ず観に行こう、と決めたのです。すぐに何人かが反応してくれ、早速読んで感想を述べてくれ

る者、石橋時代の思い出話を伝えてくる者、それなら当日どこかに集合して一緒に観にいこうと提案してくる者、なかでも最も石橋に近いところに居住するM君などはまだ本を入手してもいないのに「それなら我が家で昼酒飲んで、夕方繰り出せば良い」と申し出てくれました。いくつになっても我が同期仲間の好奇心旺盛、ノリの良いことよ、と嬉しくなりました。

当日はそのM君邸に5人集まり、彼の手料理（これが絶品！）と持ち寄った銘酒を楽しみ、夕方、3人が石橋阪大前駅に向かいました。きっと我々以外にも観にくる人がいるはず、と密かに期待していましたが何と30名近い物好きが西口に集結しており、中にはこの本から自作した石橋マップを持ってる方もいました。阪大卒業生もかなりの割合でいたのではないのでしょうか。

夕日を待っていると後方から「先生が来られた！」という声あり振り返ると作者本人・増山実氏が現れました！思わず私は一緒に写真を撮らせていただくという人生初のミーハー的行動に走ってしまいました。

肝心の夕日は曇りがちで、それでも沈みぎわにやっと姿を現してくれました。「息を呑むほど美しい」とまではいきませんでしたがそれでも、仲間と共にまさにこの日の夕日が観られ、おまけに作者本人に会えて私としては大変幸せな一日となりました。そして増山実氏はボソッと「また来年、ということですね」と呟いて去って行きましたので、私としても「また来年」です。

最後に、この話を聞きつけて文章にしろ、と言ってこられた同窓会幹事会の皆さんも「好奇心旺盛、ノリの良い人たち」ばかりなのでしょうね、とひとりではくそ笑っております。

同窓会の皆さん、来年2026年1月11日（日）、待兼山ヘンジを観に行きませんか。



何とかギリギリ見えた夕日

新幹事紹介

稲垣 優美
(73期・2025年卒)

この度同窓会第73期代表幹事を務めさせていただき、稲垣優美と申します。私たちの代はコロナの影響で横の繋がりが希薄であるからこそ、卒業後阪大経済として関わりを保てる同窓会という存在を大切にしたいと考えております。

代表幹事という立場となることに不安はありますが、ECOCAの会長を務めた経験も生かして、同窓会の発展と活発化に微力ながら務めていきます。また若い立場からの意見をお伝えできるよう尽力いたします。

どうぞよろしくお願いいたします。





「理想を高くせよ」を 肝に銘じ

三輪 一統 (57期・2009年卒)

同窓会で書記を担当している57期の三輪と申します。学部では高尾裕二先生のゼミに所属し、大学院に進学して大学教員の道へ（私の博士論文の主査は、大学連携部会長の椎葉淳先生です）。中部学院大学、神戸大学を経て、2019年、大阪大学経済学部に着任。つい最近のことのように感じますが、気づけば阪大に戻って早6年が経ちました。私生活では、ついこの間までミルクをあげ、オムツを替えていた娘と息子が、この4月から小学1年生と幼稚園年中組です。光陰矢の如し。慌ただしくも楽しい毎日を過ごしています。

研究者としてまだまだ駆け出しの身ですが、夏目漱石『愚見数則』の一節「理想を高くせよ…理想は見識より出づ、見識は学問より生ず、学問をして人間が上等にならぬ位なら、初めから無学で居の方がよし」を肝に銘じつつ、大阪大学経済学部のさらなる発展に貢献できるよう研究と教育に邁進したいと思います。



「自分の推し」に 関われる楽しさ

大塚 一樹 (38期・1990年卒)

38期の大塚です。在学中は新開陽一先生のゼミ（国際金融）に所属し、1990年に三菱銀行（現・三菱UFJ銀行）に入行しました。銀行では、現場・本部・海外と多くの経験をさせて頂き、52才で転職。現在、シノプフーズ(株)という食品会社で監査役をしています。監査役は、取締役の業務執行状況や組織の健全性を監督・監査する仕事で、会社の法令遵守や企業倫理を確保することが求められます。時には耳が痛いことも言わねばなりません、同僚や現場の皆さんに助けられ、毎日楽しく仕事をしています。特に幸せなのは、当社のお弁当やおにぎりが本当に美味しく、「自分の推し」の商品に仕事で関われることです。安全で美味しい食品を提供し、食卓に笑顔の花を咲かせるように全社員一丸となって「良品作り」に向け頑張っています。ぜひ、当社の製品をご賞味下さい。美味しいですよ！



2024年度経済学部卒業者就職・進学先 (大学院卒を含む)

(順不同)

就 職 先	人数	就 職 先	人数	就 職 先	人数	就 職 先	人数
アイザワ証券株式会社	1	京福電気鉄道グループ	1	株式会社東京スター銀行	1	BLUEPRINT Founders	1
アクセンチュア株式会社	1	K P M G 税 理 士 法 人	1	トヨタコニックプロ株式会社	1	株式会社ベイクレント・コンサルティング	3
アコム株式会社	1	KPMGコンサルティング	1	奈良 県	1	株式会社堀場製作所	1
旭 化 成	1	公正取引委員会	1	西 日 本 貿 易	1	美 津 濃 株 式 会 社	1
有限責任あずさ監査法人	3	株式会社神戸製鋼所	1	日産自動車株式会社	1	株式会社みずほ銀行	4
アビームコンサルティング株式会社	2	国 土 交 通 省	1	株式会社日本政策金融公庫	2	三井住友海上火災保険株式会社	1
アフラック生命保険株式会社	1	参 議 院 事 務 局	1	株 式 会 社 ニ ト リ	3	株式会社三井住友銀行	2
a r i b a b a	1	サントリーホールディングス株式会社	1	日本アイ・ビー・エム株式会社	1	三井住友信託銀行株式会社	1
EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社	1	J C O M 株 式 会 社	1	日 本 海 ガ ス 株 式 会 社	1	三 菱 商 事 株 式 会 社	1
イグニッション・ポイント株式会社	1	滋 賀 県 庁	1	株式会社日本カストディ銀行	1	三菱総研DCS株式会社	1
伊藤忠商事株式会社	2	シティグループ証券株式会社	1	日本生命保険相互会社	3	株式会社三菱UFJ銀行	4
伊藤忠都市開発株式会社	1	株式会社シティ・コム	1	日本タタ・コンサルティング・サービス株式会社	1	三菱UFJ信託銀行株式会社	2
S C S K 株 式 会 社	1	株式会社SHIFT	1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1	三菱UFJニコス株式会社	1
SBI新生銀行グループ	2	信 金 中 央 金 庫	1	農 林 中 央 金 庫	2	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	1
SBIホールディングス株式会社	1	京 東	1	野 村 證 券 株 式 会 社	1	明治安田生命保険相互会社	2
株式会社エスプール	1	株式会社Speer	1	パナソニック株式会社	1	モルガン・スタンレーMUFJ証券株式会社	1
espressif	1	住友化学株式会社	1	パナソニックインダストリー株式会社	1	ユーシーシー上島珈琲株式会社	1
株式会社NTTデータ	1	住友商事株式会社	1	パナソニックエナジー株式会社	1	株式会社ライトワークス	1
NECソリューションイノベータ株式会社	1	住友生命保険相互会社	2	パナソニックコネクト株式会社	1	株式会社リブ・コンサルティング	1
大 分 県 庁	1	住友電工情報システム株式会社	1	Visionox 科 技 株 式 会 社	1	レバレジーズ株式会社	2
株式会社大林組	1	第一生命保険株式会社	1	日立Astemo株式会社	1	招 商 銀 行	1
兼 松 株 式 会 社	1	ダイビル株式会社	1	日立グローバルライフソリューションズ株式会社	1	計	147
株式会社GA technologies	1	T I S 株 式 会 社	1	株式会社日立製作所	1		
株式会社高島屋	2	株式会社DIRBATO	1	P D	1		
株式会社レノバ	1	株式会社テリロジー	1	株式会社ファイントウエイ資生堂	1		
関西電力株式会社	3	デロイト・マツフィナンシャルアドバイザリー合同会社	2	株式会社FUND BOOK	1	進 学	人数
Capgemini	1	デロイト・マツベンチャーサポート株式会社	1	株式会 社 福 井 銀 行	1	大阪大学高等司法研究科	1
株式会社紀陽銀行	1	デロイト・マツリススクアドバイザリー合同会社	1	富 士 通 株 式 会 社	2	一橋大学大学院 経済学研究科	1
株式会社クニエ	1	東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社	1	富士通Japan株式会社	1	大阪大学大学院 経済学研究科	4
株式会社クボタ	1	東海旅客鉄道株式会社	1	富士電機株式会社	1	計	6
KDDIアジャイル開発センター株式会社	1	東京海上日動火災保険株式会社	1	富士フィルムビジネスイノベーション株式会社	1		
		東京ガス株式会社	1	株式会社船井総合研究所	3	合 計	153

2025年2月現在 大学の集計を元に作成

同窓会ホームページがリニューアルされました！

大阪大学経済学部同窓会

The Alumni Association of Department of Economics, Osaka Univ.

お問い合わせ 会員情報登録 Q&A 会員ログイン



経済学部同窓会のホームページが13年ぶりにリニューアルされました。同窓会井上ゆかり会長からの挨拶や、活動報告、今後の予定など盛りだくさんな内容となっています。当広報誌「待兼山」のバックナンバーも閲覧でき、おかげさまで好評をいただいています。

また、X（旧ツイッター）、LINE、インスタグラムの各種SNSでも公式アカウントを開設していますので、是非フォロー・友だち登録をお願いします。

今後更なる情報発信を行い、同窓生の皆様のお役に立つ充

実したWEBサイトを目指して参ります。皆様におかれましても、同窓会に関する情報提供がございましたら、是非事務局まで情報提供をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

同窓会ホームページ：

<https://www.web-dousoukai.com/machikaneyama/>

右のQRコードから、またはブラウザにて「大阪大学経済学部同窓会」で検索してアクセスしてください。



WEB会員名簿もリニューアルされました！

WEB会員名簿ページにつきましてもリニューアルされました。同窓会ホームページ上部の「会員ログイン」からWEB会員名簿にアクセスできます。現行のID、パスワード（当会報に同封しています）でご利用いただけます。ログインするとご本人の登録情報が表示されます。年会費を納入いただいた方は、全同窓生15,359名の情報も閲覧でき、卒業期や勤務先、出身高校などで検索もできます。この機会にご自身の情報を

ご確認ください。

ご不明な点などございましたら新しいホームページの「お問い合わせ」からどうぞ。

WEB会員名簿：

<https://www.web-dousoukai.com/machikaneyama/weblist/>

同窓会の「年会費」、または「協賛金」の納入のお願い！！

同窓会の活動は皆さんからの年会費・協賛金で成り立っています ぜひご協力を

シリーズ講演会「経済学・経営学のトビラ」や会報「待兼山」など同窓会の活動は皆さんからの年会費・協賛金で成り立っており、現在、同窓会活性化の取り組みも行っています。また財政事情の厳しい中、会則の改訂により卒業後（正会員資格取得後）40年を経過した方の年会費免除制度が廃止されました。

年会費（5,000円）の納入、または協賛金（1口1,000円、できれば3口以上）のご協力をぜひよろしくお願いいたします。

年会費・協賛金は、口座引き落とし、コンビニ、郵便局等で納付いただけます。コンビニ用振込用紙のバーコードでPayPay、auPay、PayBでのスマホ決済も可能です。

会費を納入いただいた方は、WEB名簿の閲覧・検索、ガーデンシティクラブ大阪の利用などができます。詳細は大阪大学経済学部同窓会ホームページをご覧ください。

同窓会費納入者の特典～「ガーデンシティクラブ大阪」をぜひご利用ください

年会費あるいは協賛金を納入いただいた方には、同窓会会員証を送付させていただきます。

当同窓会ではハービスOSAKAにある会員制クラブ「ガーデンシティクラブ大阪」（GCCO）に法人会員として加入しています。会員証をご提示いただくとメンバー扱いでご利用できます。

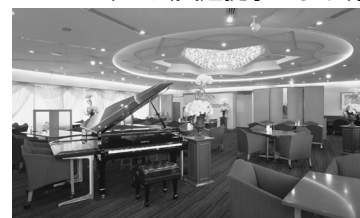
同窓会会員は個室5室（収容10～120名）を利用可（有償）、ラウンジ（平日11：30～23：00）は会員証提示により特別割引などがあります。同窓会会員の場として奮ってご利用ください。

- 【会員特典例】
- ・ラウンジにてコーヒー無料サービス（14：00～17：00）
 - ・会員価格パーティプラン（料理＋飲み放題、税込）7,000円/人

「ガーデンシティクラブ大阪」（略称：GCCO）

大阪市北区梅田 ハービスプラザ6階（JR大阪駅、地下鉄西梅田駅から徒歩約5分）

TEL：06-6343-7770 FAX：06-6343-7773 HPアドレス：<https://www.gcco.jp>



シャンデリアが輝くラグジュアリーなクラブラウンジ

何でも気軽に
お問い合わせ下さい

■同窓会事務局 大阪大学経済学部同窓会事務局

E-mail：machikane@econ.osaka-u.ac.jp TEL：06-6850-5275（火・木・金13～17時） FAX：06-6850-5276